

大牟田市中心市街地活性化協議会委員に対する個別ヒアリングのまとめ

1. ヒアリングの概要

(1) 趣旨

大牟田市では、大牟田市中心市街地活性化基本計画が令和3年度で終了するため、令和4年度以降の中心市街地活性化に関する新たな計画を策定することとしている。この新たな計画の策定に向けて、大牟田市中心市街地活性化協議会から意見聴取を行うにあたって、新型コロナウイルス感染拡大により協議会の開催が難しい状況であることを踏まえ、協議会委員に対する個別ヒアリングを実施した。

(2) 対象者

大牟田市中心市街地活性化協議会委員

(3) 実施期間

令和3年7月14日（水）～8月23日（月）

(4) 実施方法

対面によるヒアリングを基本とし、委員が希望する場合はメール又は郵送によりヒアリングシート及び資料を送付し、意見聴取を行った。

(5) ヒアリング項目

- ・ これまでの取組みについて（ここ数年の取組みや中心市街地の変化等）
- ・ 今後の方向性について（中心市街地の目指す姿、コンパクトなまちづくり、長期計画等）
- ・ 各団体（業界）と中心市街地の関わり、中心市街地の活性化に協力できること等

大牟田市中心市街地活性化協議会委員名簿

団体名	所属団体役職	ヒアリング実施日
大牟田商工会議所	会頭	7月26日
	副会頭	
	専務理事	
	商業振興委員会 副委員長	
	女性会会長	
	青年部会長	
大牟田市中心市街地活性化協議会	企画運営部会長	
(公財)大牟田市地域活性化センター	専務理事	8月23日
大牟田市	副市長	/
	産業経済部長	
	都市整備部長	
(一社)大牟田観光協会	会長	7月29日
大牟田市中心地区商店街連絡協議会	会長	7月14日
(株)イズミ ゆめタウン大牟田	支配人	7月21日
西日本鉄道(株)	専務執行役員 まちづくり・交通・観光推進部長	8月16日
九州旅客鉄道(株)	大牟田駅長	メール
西鉄バス大牟田(株)	代表取締役社長	7月30日
新栄町駅前地区市街地再開発準備組合	理事長	7月15日
(公社)福岡県宅地建物取引業協会県南支部	副支部長	7月14日
(一社)大牟田医師会	会長	書面
大牟田市校区コミュニティ連絡協議会	理事	7月14日
熊本学園大学	名誉教授	7月27日
福岡大学	工学部社会デザイン工学科教授	7月28日
有明工業高等専門学校	創造工学科 建築コース 准教授	7月27日
九州大学持続可能な社会のための決断 科学センター	特任准教授	7月30日
大牟田柳川信用金庫	理事長	7月20日
社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会	常務理事	7月14日
NPO 法人福祉でまちがよみがえる会	代表理事	7月21日

2. ヒアリング結果

各委員の主な意見について、(1)～(7)に分類・整理した。

(1) 街なかの現状

<ul style="list-style-type: none">・ 新しい店が少しずつ増え、空き店舗も少しずつ埋まってきている。
<ul style="list-style-type: none">・ 空き店舗の解消が進んでいるか全然分からないと言う人もいるが、私たちから見るとすごく進んでいる。普通であれば空き店舗が増えていてもおかしくない。努力してどうにか横ばいという感じではないか。それが減少してきているというのはすごいこと。
<ul style="list-style-type: none">・ 人通りは今も少ない。まちを散策してお店を見て回るような回遊性がない。
<ul style="list-style-type: none">・ 今は目的のお店に行ったついでに他の店を回る(はしごする)という人がほとんどいない。
<ul style="list-style-type: none">・ 毎日イベントをやるようなことでもない限り商店街に人は来ないと思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 柱となる商業者が非常に少なくなってきている。
<ul style="list-style-type: none">・ スーパーがないので日常の買い物環境は厳しい。高齢の方にとっては特に。

(2) 現計画の評価、印象

<ul style="list-style-type: none">・ コロナの影響や再開事業のストップという大きいインパクトがあって、中活計画そのものが成り立たない状況になってしまった。
<ul style="list-style-type: none">・ 現在の計画は、必ずしも実現可能性やリアリティの高い計画として受け止められていなかったのではないかと。目的や理念、計画と実際とが一致していなかったと思う。いくつか飲食店ができたなという印象しか今のところはない。成果に挙げられていることについても、計画が後押しになっていたのかというと、そうでもない気がする。計画のあり方などをもう少しリアルに考えないといけなかったのではないかと。
<ul style="list-style-type: none">・ メインの事業が動かなくなって、それ以外の事業もやっているが、それが中心市街地の活性化に有効に作用しているという風になかなか思うことができない。
<ul style="list-style-type: none">・ 歩行者通行量や空き店舗の解消が進んでいったとして、だからどうなのかというのは一番思うところ。最終的なあるべき姿が明確になってなかったのではないかと。あるべき姿を目指す過程として、人が歩かし、商店もできるし、いろいろな事業も出てくるだろうし、人も住むだろうしという組み立てを明確にできていなかった気がする。
<ul style="list-style-type: none">・ 現在の計画は、たくさんの事業が掲載されているが、それぞれがそれぞれで頑張っていて、みんながどこを向いているのか、一つの目標にちゃんと向かっているのか、気がかりではあった。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の計画の内容は延命措置のようにしか見えない。これをもとに大きく花開いていくような感じがしない。もっと大きな視点で、民間同士で知恵を出し合ってやる方がいいんじゃないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田の強みが入ってきていない印象。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の5年ぐらいは、アクティビティの量を目標値にすべきだったのではないかと思う。お店が1件増えたかどうかより、「なんか最近大牟田の街なかは面白いぞ」という感じにできるかどうか。店舗の数ではなくて、想いを持ってそういうアクティビティをやっている人の総量がまちのにぎわいだと思う。

(3) これまでの取組みの評価、印象

<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗の解消は大野タウンマネージャーの力が大きい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 良い計画や補助制度があっても、大野タウンマネージャーのような人がいないと空き店舗の解消は進まないと思う。相談の窓口があるということが大事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗に飲食店が新しく出店しているが、営業時間が夜なので、商店街の既存のお店にとってはメリットがない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まちゼミのような取組みがあると、参加してみたいと思うし、今度は食べにいったみようとなる。いい取組みだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフト事業については、まちなか新聞の発行や100円笑店街の開催とか、そういうことはできてきたと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい店ができてきて、「えるる」は学生も来ていたり、サークル活動もいろいろやっていたりして大成功だったと思う。そうした一つ一つの取組みはたくさん評価できるところがあるが、メインの新栄町再開発が挫折したのが残念だった。

(4) 今後の方向性、目指す姿

<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政としては、コンパクトシティを実現する方向で進められた方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少に合わせてコンパクトにしていくことは必要なので、街なかに人を集めるという方向性はその通り。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは住んでいただくというのは大事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱり「住」だと思う。人が住まないことには商業も成り立たないと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まずは、住んでいる人の利便性がどう高まるか、生活がどれほどよくなるか、そういうところに特化していけばいい。そこに住んでいる人たちが幸せであれば、周りの人たちもあそこはいいなと思ってくれる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ きっかけとしては、住む人が増えるということが中心になる。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みたくなるというのは重要な感じがする。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医と住が接近している環境があるといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街にある空き店舗等を商業系で埋めて賑わいを創るのは無理だと思う。居住やオフィスなどに力を入れることで、元々の商店街の賑わいにもつながっていくのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の外出行動は過去の調査やデータを見ても通院と買い物。ここに来れば病院も買い物もできるという状態にして、その中で自由に回遊できる、楽に移動できるようなモビリティがあればいい。ここだと老後は安泰という場所になれば。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢になったら街なかに住んでいただく。歳をとったら大牟田で暮らすのがよかげなよと、そう言われるような環境にもっていったらいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近大牟田の街なかではいろんなところでいろんな面白いことが起きているという状況を作る。そうした人との交流で受けられる刺激や体験というのはショッピングセンターでは普通はないので、街なかに行こうとなる。そういう仕掛けをやる人が増えてくるとまちのイメージが変わってくる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田市は何か楽しいよね、住んでみたいよねって思われるようになると、外から人が住んでくれたり、ちょっと行ってみたいなとなったりするのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田市に行けば面白いことができるかもしれないとなれば、全国には面白いことをしたい人はいっぱいいるはずなので、寄ってこられることは十分考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少等の世の中の流れを変えるのは難しいので、その流れに沿う形でどうやって地域住民が満足する生活ができるようにしていくのか、ということに尽きるのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今“ある”ことがもたらす利便性などを享受し続けられるようなまちづくりをしていく必要がある。中心のメリットは維持したうえで、そこに足し算ができていったらいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性は、今のポテンシャルを完全に活かすような形で考えるべき。

(5) 新たな計画に求めること

<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの計画はゼロベースで見直すことが必要だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ アフターコロナを見据えた計画にしないといけないと思う。飲食をメインに据えたようなまちづくりというのは、ちょっと形が変わるかもしれない。住民の幸福実現のための計画の方が、イメージとしては分かりやすいのかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 色々な商売、事業をされる中で、最終的に儲かるとか、また、住む人であったらこんなメリットがあるとか、そうした絵を描いた計画が必要なのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初にきちんと絵を描いてからインフラ整備等やっていくことが必要だと思う。最初の方は、今までの継続ということではなく思い切った絵を描いた方がいいかもしれない。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 5年先 10年先に中心市街地はこんなすごいまちになるんだというような青写真や目標が必要。行政が何をやっているのか分からないというのはよくないので、大きく掲げることも大事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分かりやすいからいいかというところでもないと思う。この1点で十分とかそういうシンプルなものではない。何かを中心にして、というような整理になるのだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目指していく方向性だけでもいろいろな人と共有できて、こういう風になったらいいね、というようなことが描けてくるといいのではないかと。とりあえずのところからスタートして、若い世代から少しずつ声が出てきたりしたときに、それを後押ししてあげられるような状況になってくると変わってくるのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ コンパクトシティを目指して集約していくときに、飲食だけでいいのか、5年後 10年後どういう年齢層の人が街なかに住んでいるのか、どんな業種が必要でどのエリアでやっていくのか、街なかに来る人はどんな移動手段で来るのか、交通アクセスはうまくいっているのか、そういうことをうまく考えてやっていけば盛り上がっていくのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの教育にしても、高齢者に優しいまちにしても、そういうものを街なかでしっかりやっていけるような計画にしてもらいたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田は工業都市だが今は工業の視点が全然ない。大牟田全体を捉えて計画してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策にメリハリを付けていいと思う。まず今のニーズの中で優先度の高いことをやっていく。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小さいことはもっと省いていって、重要なことだけやっていった方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期計画と5年刻みのアクションプランを作ればいい。今までは構想はよくても何を優先してどうやって進めていくのかというアクションプランがなかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期の計画にするにしても、いきなり20年後の目標に向かってとなるとなかなか難しいので、5年とか、少し刻んで、指標や目標値を設定するといいいのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ここに暮らしてよかったとか、市民のイメージがもっと前向きなものになるようなことが長期的にもまちの発展につながっていくと思う。そういう定性的なことを定量化して盛り込むには一工夫いるだろうが、まずは実現したい姿を描いて、それが端的に表されるような目標指標等を設定すればいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に目標像も更新されていくようなプロセスがまちづくりでは必要。ビジョンは必要だが、時代や地域の状況に応じて更新し続ける仕組みがないと変化に対応できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンをどこまで書くのかという点については、逆に書かないことも大事。余白を残しておくことは大事。
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナルで作る計画に実効性を持たせるためには体制が大事。

(6) 今後取り組んでいくべきこと

<ul style="list-style-type: none">・ 固定資産税を軽減する取組みがあれば、もう少し空き店舗への出店の動きが出てくるのではないかな。
<ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地の固定資産税が高い部分もある。それで（空き店舗を）貸さない方がいいというオーナーもいまだにいる。オーナー向けに何かできるとしたら固定資産税しかないのではないかな。
<ul style="list-style-type: none">・ 空き店舗情報をきちんとデータで管理していく方がいいと思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 空き店舗の活用に関して、商業系も企業系も対応できるコンシェルジュのような人材が一人いてくれたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 空き店舗に新たに新店が続いていくよう、ある程度の期間は後押ししてあげられたらいいと思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 起業家を支援するようなことが中心市街地の活性化につながるのではないかな。
<ul style="list-style-type: none">・ 域内だけで商売をしていてもしょうがない。外に攻めていけるようにしないと。中心市街地でそういうことにチャレンジする人を支援していったらどうか。
<ul style="list-style-type: none">・ 今だったら、IT系の企業を誘致して、サポートを充実して、外に向けて発信していったらどうか。
<ul style="list-style-type: none">・ 大牟田の場合、2つの駅が核。そこをまず充実させることが重要。そこに居住を集める。最初は行政が力を入れて駅を盛り上げると民間が乗り出してくる。人が住めばお店はあとからやってくる。
<ul style="list-style-type: none">・ 大牟田駅は、高専、帝京大学、三池工業などの学生が多く乗り降りしている。そういうゾーンで積極的に何かやってもいいのではないかな。
<ul style="list-style-type: none">・ 新栄町駅の再開発に加えて、大牟田駅前についても活性化に向けた構想が必要。
<ul style="list-style-type: none">・ 街なかで活躍してもらえる人を作り出すことに一番取り組んでいくべき。ハード面とか色々あるだろうが、まずは人の部分からやっていく。
<ul style="list-style-type: none">・ 何か頑張ろうと思っている人を支援して、それをできるようにする。人的資本に対する投資がまちづくりで一番重要。まちづくりの根幹は人なので。
<ul style="list-style-type: none">・ 何かやってみたいと心に秘めている人はいるかもしれない。そういう人たちを応援することができたらいいいのでは。また、すでに動いている人たちに応援部隊をつけて、さらに進めていってもらおうというのもあると思う。
<ul style="list-style-type: none">・ 人材は、めぼしい人がいればその人を育て、いなければ呼んでくる。場合によっては、まちづくりスクールみたいなプラットフォームを作って、そこで色々勉強しながら発掘していくとか。

<ul style="list-style-type: none"> やる気がある若い人を応援してほしい。自分たちがしたいことをできる場があれば頑張ると思う。意見が実現していくことで、ほかの人たちが自分も意見を言ってみようという気になってくるのではないか。
<ul style="list-style-type: none"> 今の若者に、大牟田をフィールドにして社会的な課題に取り組んでいくことを経験させていく中で、人材として育てていくことを意識的にプログラミングした方がいい。
<ul style="list-style-type: none"> 自分の商売で地域の人とコミュニケーションをとりながら商売をやっっていこうという若い人を引っ張ってくる。
<ul style="list-style-type: none"> 行政等は黒子に徹して、若い人たちが一生懸命にやろうとすることを応援する。
<ul style="list-style-type: none"> 若者が地元に残ってくれるとか、誇りを持ってくれるとか、社会に対する課題認識を持ってくれるとかっていう取組みをやっているところもある。そういうことを大牟田でもできたら、それこそ20年積み上げられたら、大牟田のまちは明らかに変わると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 今の子どもたちが大人になって、街なかが原風景となるような子を一人ずつでも増やしていく取組みが必要。そのためには関わりを持たせることが必要。今の街なかだと声をかけても来ないので。
<ul style="list-style-type: none"> 優遇策を充実させて、誘導施設をどんどん誘導していく必要がある。富山市などのように思い切って税制の優遇までできればいいが。
<ul style="list-style-type: none"> 文化の香りがしないところには人は集まらない。特に若い人は。大牟田は著名な漫画家を多く輩出している。そういう部分をうまく活用していったらどうか。
<ul style="list-style-type: none"> 繁華街というのはやはり活性化に必要。そのためにはもう少し街なかを綺麗にしないと。
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地活性化室といった部署を作って、民間からの意見や提案を吸い上げるような相談窓口を設けて、いいなと思うものに注力していくような形の方がいいのではないかな。街なかに住んでいる人たち、働いている人たちの意見をまず吸い上げていった方がいい。

(7) その他の意見

<ul style="list-style-type: none"> 新栄町駅前をゴーストタウン化してはいけない。
<ul style="list-style-type: none"> まずは新栄町。ここが成功すると周辺の空き店舗なども埋まっていくと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 新栄町駅の周りがとにかく寂しい。色々クリアすべきことはあるかもしれないが、臨時駐車場として使うとか、イベント広場みたいにして活用するとかができればいいのだが。
<ul style="list-style-type: none"> 新栄町駅前に人が住むようになったら、身近なところでパンを買ったり、買い物を済ませたりとか、商業施設の需要につながることもありうると思う。
<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺とか拠点性のあるところで、再開発などをプロジェクトベースでやるような動き（ハード）と、そのハードの活用も含めて、事を起こしてくれる人のネットワーク（ソフト）、その両方が必要。
<ul style="list-style-type: none"> 今さら何か大きいものを東京から引っ張ってきますと言っても誰も信じない。

<ul style="list-style-type: none"> ・ お城のようなシンボルが必要とは思わない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 気運的に、ハコものを作ってもダメだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物に関しては、ショッピングセンターとの住み分けが必要。そういう意味では遠方からわざわざ来てもらえるようなお店の誘致はすごく重要なこと。近隣の方に来てもらおうと思ったら、居住人口を増やすのが一番。わざわざ行くようなお店と普段使いのお店、両面をにらんでいく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模なスーパーマーケットを核として、特徴のあるお店が出てくるといいではと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小の商店の中には自分の代で終わりという人がすごく多い。うまく事業承継する仕組みを考える必要があるのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 跡継ぎがいなくて、廃業しようと思っているお店も結構ある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近は飲食店の出店が多いので、飲食店を回遊されるような動きが出てきてくれたらいいのではと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者がスムーズに買い物できる環境が重要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者にとっては、山手の方に家があるよりも街なかにあった方が動きやすいとは思う。ただ街なかには病院があまりない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今はある程度お金があって時間がある高齢者がいっぱいいる。そういう人たちをターゲットに、遊んでもらえる工夫をしたらいいのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生には、学校以外の場所というのが足りてない状態だと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の学生は就職活動に向けてボランティアをやっている学生が多い。ここに行けばいろいろなボランティアができるとか、そういう場があれば、ニーズがあるかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 今はボランティアをする人が増えているので、そういう人材の掘り起こしができれば。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人を呼び寄せるのは人でしかない。店の業態は関係なく、それを運営している人の姿勢によって地域に対する貢献度が変わってくる。最初の一人、面白い人がいたら、そこにまた次の面白い人が来る。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田市民の中にも、自分たちが住んでいるまちは自分たちでよくしていこうというモチベーションがある人がいるだろうし、逆に大牟田に住んでそれを成し遂げたいという人もいると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の満足感を上げていくには、おそらく施設があればいいとかサービスがあればいいとかじゃなくて、人との関わり合いの中で、楽しい時間、安心できる時間を過ごしたりとかっていう社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の底上げが大事。それができる人を大牟田のまちにどうやって増やしていくのが課題。
<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくいっているところは大体地元でスーパーマンがいる。そういう人がいなくて、市や会議所におんぶに抱っここのところはなかなか上手くいっていない。

<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり会社はずっと前からの課題。ある程度儲かっていかないと続かない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくり会社のようなものがないと実際動かない状況になっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアマネジメントを手掛ける組織があると、そこに人が集ってアイデアマンも出てくる。社会実験をやるにしても、そういう母体が一つあるといいかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田の街なかはある意味ポテンシャル満載で、空いている空間がいっぱいある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代によってニーズが全然違う。コアチームが相当戦略的でないと、みんなの意見を聞いていたら良いものにならないと思う。若者に未来を考えてもらうのがいい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型プロジェクトをやるとなれば長期的なスパンになるが、試しにやってみたらというものはやっていって、力を得ながら、それを大型プロジェクトの中うまく取り込んでまとめていくといい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 街なかに関わる人間が増えていって、大牟田のまちは最近面白いぞとなってくると、あそこで働きたい、暮らしたいというニーズも出てくる。そういうニーズを取り入れていくための仕組み、土地利用の規制や緩和なども次のステップとして考えられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 働く場所としてまちをつくり直すというのは、いろんな街なかでそういうふうに変換している。今はコロナもあって職住近接に対する社会的意識がすごく高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響は多方面に及んでいると思うが、遠くに行けなくなってきているので、地域の中で暮らしていくといったような、地域に目を向けている状況があるのではないかなと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が10万人を切ってしまうと、中心市街地の拠点性というのはイメージしづらくなる。都市の顔として中心市街地が必要というのはその通りだが、その前に、この10万人を切ろうとしているときの中心市街地の顔というのはどうあるべきかを考えると、今までのような顔ではないのだろうと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大牟田の環境で何がいいのかというのは、外（外部の専門家等）から見てもらった方がいいかもしれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ オール大牟田でやるべきだと思うが、市役所の組織を見ると、それぞれで動いているように思う。もう少し連携して取り組んでいった方がいいのではないかな。
<ul style="list-style-type: none"> ・ こういう取組み（中心市街地活性化）をやるのであれば、まず民間の力に任せるべきだと思う。市には市にしかできないようなことをやってもらいたい。

以上